

リスクアセスメント実務研修会を開催しました ～ 労働災害防止対策を進めるために～

那覇労働基準監督署（署長 星野 護）では、増加傾向にある労働災害を減少させるため、平成28年3月7日にリスクアセスメント実務研修会を開催しました。

実務研修会には、企業の安全衛生担当者等に出席いただき、グループに分かれて職場にあるリスク（危険の芽）から予測される労働災害の大きさを見積もり、優先して対策を講じるべきリスクの順位を決める等、演習方式で模擬的にリスクアセスメントを実施してもらいました。

那覇労働基準監督署では、来年度も定期的にリスクアセスメント実務研修会等を開催し、有効な労働災害防止対策であるリスクアセスメントの普及拡大を図ることとしています。来年度の研修会については、日程が近くなりましたらHPにてご案内いたしますので、関心のある方はふるって申込みください。

・リスクアセスメントとは

職場にある様々なリスク（危険の芽）を見つけ出し、そのリスクが原因で発生する労働災害を予測、発生した場合の重大性をあらかじめ見積もり、重大性の高いリスクから順に対策を講じていく手法です。

詳しくは、http://anzeninfo.mhlw.go.jp/risk/risk_index.html

研修会の風景

